

i-ConおよびICT施工事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No
S-02

■ 技術名称	
3D-MC及び3D-MG	
■ 基本情報	
会社名	
工事名(発注者)	
活用工事分類	発注者指定 / 施工者希望Ⅰ型 / 施工者希望Ⅱ型 / 活用工事以外(技術提案 / 創意工夫 / その他)
工種(大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他()
工種(小項目)	フィルダム堤体盛立
ICT技術分類	①3D起工測量 ②3D設計データ ③ICT建機 ④3D出来形管理 ⑤3Dデータ納品 ⑥その他()
■ 実施内容詳細	
対象数量	フィルダム堤体盛立 3,800,000m ³
実施回数・台数	MCブルドーザ 6台、MGバックホウ12台
実施期間	2015年 5月 ~2017年 4月 (実働 計 24ヶ月)
施工段階での課題と解決方法 (1)	発生した課題: VRSの受信状態不安定(電波状況) 解決方法: VRSのほか基準局を場内に設置し、現場状況に応じて(電波の受信状況に応じて)使い分けた
施工段階での課題と解決方法 (2)	発生した課題: 異なる2メーカーのGNSS共存による基準局の取り扱い 解決方法: 原則的にVRSに一本化した。2メーカーのうち1メーカーについてはVRSの受信状況が安定していたため、基準局の設置は不要であった。
施工段階での課題と解決方法 (3)	発生した課題: SQCDEのどんな内容でも構いません 解決方法: 途中段階や、解決できなかった場合でも、意見・案などあればお書き下さい

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■ 参考図・写真	
   	
■ 感想・要望事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事では創意工夫として自主的にICT建機を導入した ・ICT建機を導入した工種について、今後の普及展開の面から、実績に基づく損料割増といった制度を考慮願いたい。 	